

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス いと		公表日		2025年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		法令を遵守したスペースが十分に確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		法令で定められている配置人数に加え、指導員又は保育士を概ね3人は配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		入り口に階段はあるが、室内はほぼバリアフリーになっている。 視覚的に伝わりやすいように構造化している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃、消毒等行って清潔を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		利用人数に合った個別指導の空間を用意できる環境になっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日職員会を実施し、話し合う機会を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の方へのアンケートを実施し、業務改善へと繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		療育の活動内容やこどもの様子の記録を職員間で確認したり、こどもの状態変化を都度伝達できる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		現在は利用者と社内の二者評価をとっている。 第三者による外部評価については、現在実施の予定はないが、今後必要に応じて実施を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月社内研修を行い定期的に社外研修にも参加し資質向上に繋げている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		職員みんなで話し合い作成し、ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		保護者の方とのモニタリングでの話し合いをもとに児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員間でのカンファレンス等でこども達の様子を振り返り、その子似合った支援を検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		カンファレンスで共有し、その日の振り返りを行い、計画に沿って職員全員が同じ方向性を持ち支援をしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		社内のアセスメントツールを利用し策定している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援ガイドラインを理解し、一人ひとりに合った支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		常に話し合いのできる雰囲気、場、時間を設けている。		

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	個別療育を担当する職員が日々変わることや活動内容の記録を職員同士で共有しており様々なプログラムに取り組みようとしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	こどもの様子や成長に合わせて個別療育、小集団療育を適宜に組み合わせ支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	その日の担当が事前に決まっており、前回からの繋がりを職員間の話し合いや書類で確認し、チームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	書類としても残しているが、その日の様子を職員間でも必ず話し合い次に繋がるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	療育の活動内容や活動の結果、またこどもの様子等を記録し、支援の改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	通所支援計画の更新毎に目標と支援内容の見直しを行い、それをもとに次期計画を作成している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	担当制で療育を行っていないが、児童発達支援管理責任者をはじめ職員全員がこどもたちの状況を把握しチームでの支援を行っている。会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当する職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	保育園とは送迎時や担当者会議などに参加し、連携を取り支援を行う体制を作っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	市で行われる交流会や担当者会議に参加し、情報共有と相互理解を図れるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		今後検討していきたい。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	7	より高い指導スキルを持つ育成者やスーパーバイザーの研修や助言を受け資質向上に努めている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		今現在はこどもたちの療育を最優先にしているためやっではないが今後検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	利用後にはアプリを使いその日の活動の様子を伝えている。また送迎時に様子を聞いたり伝えたりしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	参加できる研修があれば案内している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	入所時に必ず行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	定期的に面談し、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		「児童発達支援計画」を提示し、必ず同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的に行うとともに、希望があればいつでも対応し、面談や必要な助言と支援を行えるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			今現在はこどもたちの療育を最優先にしているためやっではないが今後検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		もし相談や申し入れがあった場合すぐに会社全体で話し合い解決策を考え迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNS（インスタグラム）で活動内容やこどもの様子や行事など情報配信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。また個人情報にアクセスできる端末は外部に持ち出したりせず適切な対応を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		こどもの状態に合わせ文字や絵カードなど視覚的情報などを活用して意思疎通、情報伝達等を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			今現在はこどもたちの療育を最優先にしているためやっではないが今後検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		全種マニュアルを作成し、事業所玄関にいつでも閲覧できるようになっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画（BCP）を策定し、月に一度、色々な想定で訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時や利用後に起きた場合は保護者の方から状況を聞き、職員全体で把握している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		食事やおやつ等の提供はないが、契約時にアレルギーの有無を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		マニュアルを作成し、定期的に見直し安全管理を十分に行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		入所時に必ず行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット事例が起きた時は、報告書を作成し、職員間で話し合い情報を共有し怪我や事故を事前に防げるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		マニュアルを作成し、研修会に参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		研修会に参加し職員間で対応を話し合いマニュアルを作成している。また保護者の方には契約時に説明している。		